

グランドチャンピオンに齊藤さん

肉牛青年部は3月6日、第24回肉牛枝肉共励会を畜産流通センターで開き、黒毛和種25頭、交雑種6頭の31頭の出品がありました。黒毛和種出品の枝肉は全てが最高等級A5に格付けされ、レベルの高い共励会となりました。グランドチャンピオンには、脂肪交雑基準(BMS)ナンバー12で、ロース芯面積91cm²の齊藤誉尚さんの枝肉が選ばれました。肉牛肥育技術の向上と肉質改善を図ろうと毎年開いています。



東哲哉組合長から
グランドチャンピオンのカップを受け取る齊藤さん(左)



受賞枝肉と齊藤さん

〈表彰〉 【黒毛和種の部】 金賞 齊藤 誉尚 銀賞 齊藤 尚吾 銅賞 安武 祐基
【交雑種の部】 金賞 坂本 翼 銀賞 吉良 聡一郎

乳用種経産牛枝肉共励会

最優秀賞に(有)水上牧場

第11回九州連合乳用種経産牛枝肉共励会が3月7日、畜産流通センターで開かれ、最優秀賞に(有)水上牧場の枝肉が選ばれました。九州の乳用種経産牛の品質向上と、取引の活性化を目指して毎年開催されています。

※乳用種経産牛枝肉共励会は、搾乳を終えたホルスタインなどの乳用牛(経産牛)の枝肉の品質(肉質、歩留まり、脂肪交雑など)を競う品評会です。酪農家の経営安定と、食肉としての乳用牛肉の付加価値向上を目的に、各地のJAや畜産振興団体が主催しています。



表彰状を手にする水上さん(左)と
酪農生産事業推進研究会 田北会長

堆肥共励会

耕畜連携部門で受賞

きくちのまんま有機支援センター菊池
きくちのまんま有機支援センター旭志



表彰式が2月25日、熊本市で開かれました

熊本県耕畜連携推進協議会が主催する県堆肥共励会で「きくちのまんま有機支援センター菊池」と「きくちのまんま有機支援センター旭志」が、耕畜連携部門[熊本県耕畜連携推進協議会会長賞]を受賞しました。第29回目となる令和7年度は、畜産農家や堆肥センターから108点の出品がありました。畜産別3部門(乳牛・肉牛・中小家畜)、作物部門、耕畜連携部門、新人部門に分けて表彰がありました。成分分析、発芽試験、現物審査(色相、形状、臭気)、製造方法、(副資材、堆積日数、切り返し回数)などが審査されました。県内の堆肥生産のレベルアップを目指し、毎年開かれています。